

2020年度「正課外活動開始のための講習会」開催報告 (オンラインによる COVID-19 感染予防, 熱中症予防講習会)

「正課外活動を再開するための講習会」を高大接続・学生支援センター、学生支援課との協働で、2020年6月15日(月)～21日(日)に開催した。対象は正課外活動クラブ・サークル所属者および入部希望者全員である。講習会の形態は Moodle を活用したオンライン方式(オンデマンド型1)であり、新型コロナウイルス感染予防と熱中症予防に関する内容であった。講習会は正課外活動を安全安心に開始するための講習会であり、特に今回は学生自らが感染予防に関する知識を持ち、危機感をもって対応することが大切と考え開催した。講習会受講後には、各団体は「正課外活動開始のための申請書」を提出し、許可された団体のみが7月1日より正課外活動を開始できることとした。

本講習会は上記期間としたが、学生からの要望により期限を設けないこととした。そのため、当初の講習会期間を過ぎても受講する学生がおり、8月1日現在、4691名となった。本報告書は7月末までの講習会およびアンケート調査の結果を報告する。

アンケート調査結果は表1に示した。受講学生は17ヶの調査項目のすべてにおいて97%以上「できる」と回答された。受講学生の3%が「できない」と答えた項目は「3. 毎朝、検温と健康状態を確認し記録する」であったが、正課外活動開始のための申請書に記録用紙を添付する必要があることから、少なくとも正課外活動の開始前には検温や健康状態を確認することができない学生はいないと思われた。「着替える前に WBGT を確認する」項目に3%の学生が「できない」と答えたが、これは講習会資料をよく読んでいないためと考えられる。スマホを使えば簡単に情報を見ることができるので、WBGTが高くなり必要性が増せば見るようになると思う。

本調査から、本講習会の目標はほぼ達成できたと考えられる。新型コロナウイルス感染が収まらない現状では、正課外活動および日常生活において一人一人が本当に感染予防行動を取れるよう努めてもらいたい。

なお、岡山大学では正課外活動を開始するにあたり、1) オンライン講習会受講を受け、2) 団体の「正課外活動開始のための申請書」を提出させ、3) 審査することで、正課外活動開始を許可することとした。しかも、正課外活動は限定的・段階的に実施することとしたため、申請書の提出と審査は、7月前半、後半、8月の3回とした。

一日も早い新型コロナウイルス感染の終焉を迎え、活発な正課外活動が戻ってくることを祈っている。

【問い合わせ先】 全学教育・学生支援機構 スポーツ支援室
鈴木久雄

TEL 086-251-7181

表 1. 2020 年度「正課外活動開始のための講習会」アンケート結果

	調査項目	できる	できない	回答数
1	熱中症と新型コロナウイルス感染の予防法を理解し実施する	4674 (100%)	17 (0%)	4691
2	毎朝、検温と健康状態を確認し記録する	4566 (97%)	125 (3%)	4691
3	発熱や体調不良のときは、正課外活動を休む	4673 (100%)	18 (0%)	4691
4	着替える前にWBGTを確認する	4568 (97%)	123 (3%)	4691
5	正課外活動に参加できないときは欠席を伝える	4674 (100%)	17 (0%)	4691
6	水分塩分補給用ドリンクを準備する	4655 (99%)	36 (1%)	4691
7	手洗い用タオルを準備する	4657 (99%)	34 (1%)	4691
8	手洗いの用具を確保し、正課外活動前後には手を洗う	4658 (99%)	33 (1%)	4691
9	共有物品の消毒用具を確保し、消毒する	4601 (98%)	90 (2%)	4691
10	更衣時の三密を回避する（更衣をしない場合は「実施できる」にチェック）	4648 (99%)	43 (1%)	4691
11	一緒に活動するメンバーおよびその他接触者名を記録する	4582 (98%)	109 (2%)	4691
12	活動前に水分補給してから開始する	4671 (100%)	20 (0%)	4691
13	活動メニュー毎に三密を回避する	4633 (99%)	58 (1%)	4691
14	激しい身体活動・スポーツ活動以外の活動時はマスクを着用する	4652 (99%)	39 (1%)	4691
15	ゴミ（ドリンクボトルを含む）は持ち帰る	4670 (100%)	21 (0%)	4691
16	活動終了後は速やかに帰宅する	4672 (100%)	19 (0%)	4691
17	ミーティングはWebで行う	4652 (99%)	39 (1%)	4691